

第84回国民スポーツ大会
第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会

第1回 式典専門委員会



令和7年2月6日(木)

島根県市町村振興センター 6階「大会議室」



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会 第 1 回式典専門委員会

次 第

日時：令和 7 年 2 月 6 日（木）10:00～11:30

場所：島根県市町村振興センター 6 階大会議室 1

1. 開会

2. 委員紹介

3. 議事

(1) 委員長挨拶

(2) 説明・報告 頁

① 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の概要 4

② 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会
の概要 5

③ 式典専門委員会及び式典業務の概要 9

(3) 審議

① 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会
式典基本方針（案） 14

4. その他

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会 式典専門委員会 委員(順不同・敬称略)

NO	区分	役職	所属	職名	氏名
1	学識 経験者	委員長	島根大学教育学部	教授	カワソイ タツヤ 河添 達也
2			島根県立大学短期大学部	短期大学部長 教授	カジタニ アケミ 梶谷 朱美
3			島根県吹奏楽連盟 元理事長	-	モリワキ ハルオ 森脇 治夫
4	体育 スポーツ		公益財団法人 島根県スポーツ協会	事務局長	コンドウ カズユキ 近藤 一幸
5			公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会	理事	イマオカ カツミ 今岡 克己
6	学校		島根県小学校長会	事務局長	サトウ ジュン 佐藤 淳
7			島根県中学校長会	副会長	モリヤマ キミハル 森山 公晴
8			島根県公立高等学校長協会	理事	ササキ マサノリ 佐々木 雅典
9			島根県私立中学高等学校連盟	会長	ミズタニ アツシ 水谷 厚志
10			島根県特別支援学校長会	会長	セノオ タカミ 妹尾 貴巳
11	音楽		島根県吹奏楽連盟	理事長	フジイ カツノリ 藤井 克典
12			島根県合唱連盟	理事長	フノ ヒロシ 布野 浩志
13	文化	副委員長	公益財団法人 しまね文化振興財団	島根県民会館 文化事業課長	ヤマサキ シンジ 山崎 晋志
14	報道		日本放送協会松江放送局	コンテンツ センター長	コシノ マサシ 越野 政司
15	会場地		出雲市 市民文化部 文化スポーツ課	課長	ハラ タクヤ 原 拓也
16	県		環境生活部 文化国際課 文化振興室	室長	イトウ ヤスタカ 伊藤 泰隆
17			環境生活部 スポーツ振興課	課長	アオキ サトル 青木 悟
18			健康福祉部 障がい福祉課	課長	キッカワ ユウジ 吉川 雄二
19			県教育委員会 学校企画課	課長	ナカニシ マサミ 中西 正実
20			県教育委員会 教育指導課	課長	コバヤシ ツトム 小林 努
21			県教育委員会 特別支援教育課	課長	ヤツカ マサヨシ 八束 政義

(2) 説明・報告

国スポ・全スポの概要

会期

- 本大会：9月中旬から10月中旬 11日間以内
- 全スポは国スポ終了後に開催 3日間

国スポ実施競技

- 正式競技：37
- 特別競技：1
- 公開競技：9
- デモンストレーションスポーツ：30程度

全スポ実施競技

- 実施競技：14
- うち個人競技：7
- うち団体競技：7
- オープン競技：数競技程度

開催規模(R5鹿児島国体・全スポ参加延べ人数)

(単位：人)

区分	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
国体	85,462	124,970	443,203	653,635
全スポ	22,745	45,818	22,096	90,659

経済波及効果

開催県	経済効果
R5鹿児島	約806億(整備218億、事業費233億、消費111億)
R4栃木	約1,183億(整備652億、事業費177億、消費98億)
H30福井	約615億(施設整備・事業費460億、消費50億)

県民総参加！

※写真、参加者数等数値は全てR5燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会(全スポ)より(人数単位：人)



児童生徒が多数参加する式典演技



警察・生徒等の編成による式典音楽隊



生徒が競技補助員で活躍

児童生徒の参加と県民運動の取組！

式典・競技会への児童生徒の参加		延べ人数	開催準備への参加		学校数	備考
直接参加	競技補助員(国スポ・全スポ)	約25,500	協力	花いっぱい運動	約1,000	プランター15,700基
	都道府県応援団(国スポ・全スポ)	約4,100		手作りのぼり旗の制作	111	のぼり旗374本
	競技会応援(全スポ)	約1,200				
合計		約30,800				



花いっぱい運動

ボランティアの参加



運営ボランティアによる大会運営 情報支援ボランティア

ボランティア区分	実人数
運営ボランティア	2,046
情報支援ボランティア	354
選手団サポーター	1,290
合計	3,690

- 募金・協賛 -

総額 約5億8千万
 ➢ 募金(寄付金) 約2億
 ➢ 協賛金・協賛物品 約3億8千万

来場者をおもてなし



おもてなし広場(来場者数約109,000人)
 (特産品販売、伝統工芸品PR、競技体験等)

- 輸送交通・宿泊手配 -

区分	バス輸送台数	配宿延べ人数	県手配弁当区分	食数
国体	5,006台(1日あたり最大329台)	140,577	式典弁当	11,552
全スポ	2,155台(1日あたり最大552台)	28,602	競技会弁当	16,899
合計	7,161台	169,179	一般弁当	41,086
			合計	69,537

- 文化プログラム -

登録数 362件
 (スポーツフェスタ、芸術祭、花火大会など)

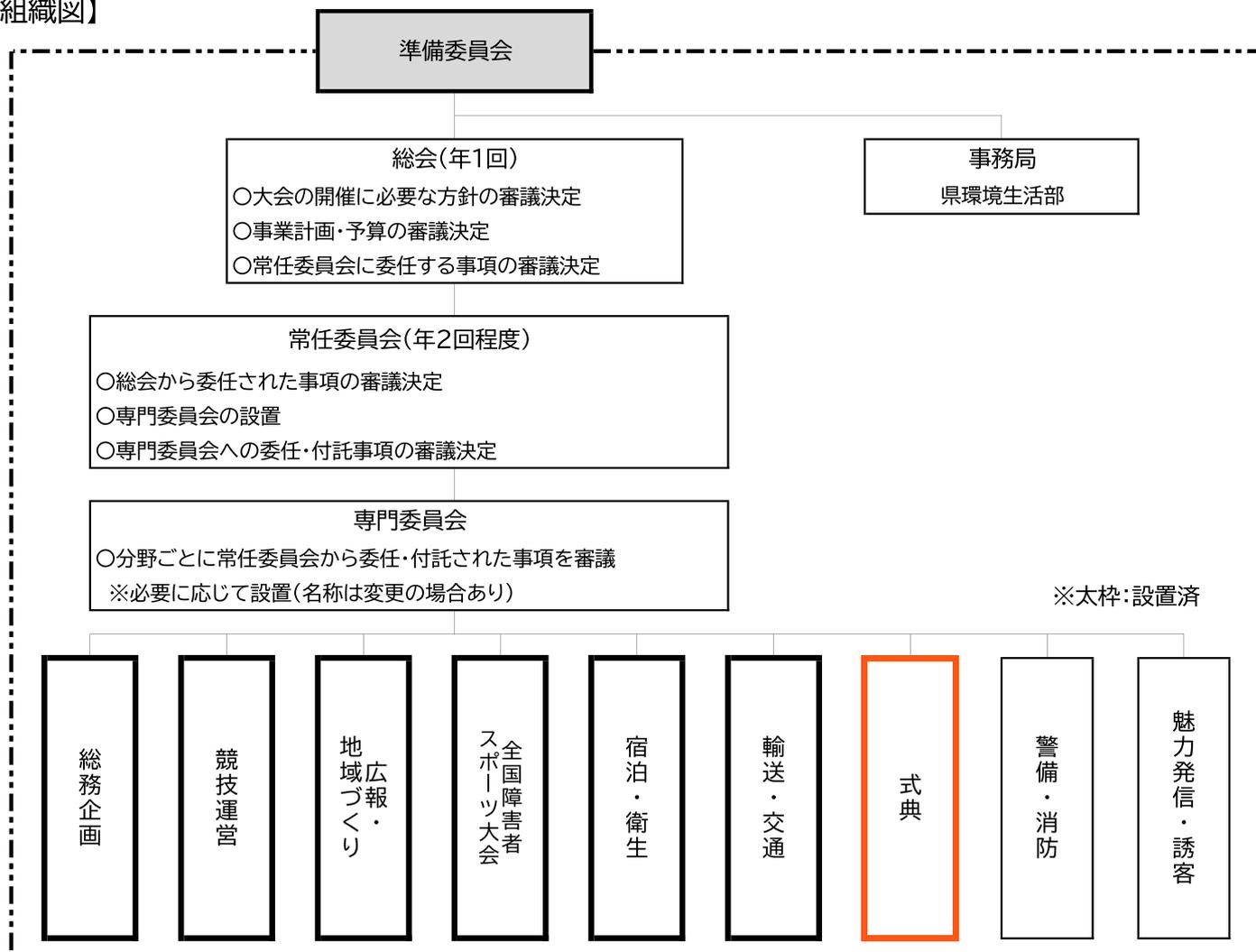
- 県実施本部 -

- 国体・障スポ 3,236人
- 行幸啓等本部 333人

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 島根県準備委員会 会議の種類と役割等

準備委員会は、第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を島根県において開催するために必要な準備を行うことを目的として設置
(参考: 島根県準備委員会会則(資料1-1)、島根県準備委員会専門委員会規程(資料1-2))

【組織図】



総 会	大会開催に係る根幹的事項の審議・決定を行う最高機関 開催基本方針、会則の制定、事業計画、予算・決算、常任委員会への委任事項等
常 任 委 員 会	実質的な施策の審議・決定を行う機関 総会から委任された事項(開催基本計画、会場地市町村・実施予定競技の選定等)の審議決定
専 門 委 員 会	専門的な施策の審議・調査を行う機関(必要に応じて設置)
	<ul style="list-style-type: none"> ・総務企画 総合計画、会場地市町村の選定、施設整備方針、施設基準等 ・競技運営 実施競技選択方針、運営計画、競技役員養成、用具の整備等 ・広報・地域づくり 広報基本方針、名称、シンボルマーク、マスコット等の制定、 県民活動基本方針、地域連携の推進等 ・全国障害者スポーツ大会 大会の開催準備 ・宿泊・衛生 宿舍・配宿、食事・弁当、医療救護対策、防疫、食品・環境等 ・輸送・交通 全国輸送、総合開会式の輸送、競技会場地等の輸送計画等 ・式典 開・閉会式、式典演技、式典音楽の計画等 ・警備・消防 開・閉会式、競技会場の警備、消防防災対策 ・魅力発信・誘客 県外からの誘客につなげる歴史・自然・文化など地域資源の整理等

これまでの大会準備経過

年 月 日	内 容
平成30年 9月3日	(公財) 島根県体育協会が理事会・臨時評議員会で、第84回(2029年)国民体育大会招致を決議
9月10日	(公財) 島根県体育協会が、第84回(2029年)国民体育大会招致に関する要望書を、(公財) 島根県障害者スポーツ協会が第29回(2029年)全国障害者スポーツ大会招致要望書を、それぞれ県、県議会、県教育委員会に提出
9月26日	県議会が「第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
10月25日	知事が県議会全員協議会において、両大会を2029年に招致することを表明
11月7日 11月8日	県、(公財) 島根県体育協会、県教育委員会が連名で、開催要望書を(公財) 日本スポーツ協会と文部科学省に提出
12月13日	(公財) 日本スポーツ協会国体委員会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が了承
平成31年 1月16日	(公財) 日本スポーツ協会理事会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が内々定
令和元年 10月1日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会を設置、3回にわたり会議を開催
令和2年 6月3日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会の提言書を岸本強座長より知事に提出
9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県の4者が鹿児島国体及び鹿児島大会を令和5年に開催することを決定し、これにより本県で開催予定の第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を令和12年に1年延期することが決定
10月2日	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会を開催
令和3年 3月22日	準備委員会第1回常任委員会を開催
7月29日	準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
9月7日	準備委員会第1回広報・機運醸成専門委員会を開催
10月7日	準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
10月12日	準備委員会第2回常任委員会を開催
令和4年 2月16日	準備委員会愛称・スローガン選定部会を開催

年 月 日	内 容
令和4年 3月7日	準備委員会第2回広報・機運醸成専門委員会を開催
3月11日	準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
3月11日	準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
3月16日	準備委員会第2回総会を開催
10月20日	準備委員会第3回広報・機運醸成専門委員会を開催
12月7日	準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月16日	準備委員会第3回総会を開催
令和5年 1月17日	準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
2月17日	準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
3月9日	準備委員会第3回常任委員会を開催（書面開催）
7月11日	準備委員会第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
7月14日	準備委員会第4回総会を開催（書面開催）
7月27日	準備委員会第1回広報・地域づくり専門委員会を開催
9月4日	準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
令和6年 2月6日	準備委員会第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
2月9日	準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催（書面開催）
3月6日	準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
3月14日	準備委員会第4回常任委員会を開催
5月30日	準備委員会第2回広報・地域づくり専門委員会を開催
6月25日	準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催
7月3日	準備委員会第5回総会を開催
10月17日	準備委員会第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
12月17日	準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
12月20日	準備委員会第1回輸送・交通専門委員会を開催
令和7年 1月29日	準備委員会第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
2月3日	準備委員会第3回広報・地域づくり専門委員会を開催

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会について

1. 愛称・スローガン・マスコットキャラクター



デザインに用いた色は、
勾玉・銅剣の「緑」、しめ縄・神々しさの「金」、夕日・炎の「橙」
をイメージ

2. 開催基本方針、基本構想 (資料 2-1、リーフレット)

3. 大会会期 [国スポ] 令和 12 年 (2030 年) 9 月～10 月中旬 [全スポ] 国スポ終了後に開催 (3 日間)

4. 開・閉会式会場 (R2.10.2 第 1 回総会にて決定：資料 2-2) 総合開・閉会式会場：県立浜山公園陸上競技場 (出雲市) 雨天時会場：県立浜山体育館「カミアリーナ」(出雲市)

5. 開催競技及び会場市町村 (資料 2-3)

6. 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担 (資料 2-4)

式典専門委員会の概要

1 式典専門委員会の目的について

「島根かみあり国スポ・全スポ」に全国各地から訪れる多くの方々をおもてなしの心でお迎えし、島根の多彩な魅力を全国に発信する国スポ・全スポにふさわしい開・閉会式を創り上げるため、専門的見地から検討・審議等を行う「式典専門委員会」を設置する。

2 式典専門委員会の概要

(1) 主な審議事項（予定）

- ① 国スポ・全スポ各開閉会式開催に向けての方針・計画等に関する事
- ② 式典運営に関する事
式典本部体制、開・閉会式の全体計画等
- ③ 式典音楽に関する事
音楽隊編成、場面ごとの使用曲計画、作・編曲者選考、制作等
- ④ 演出プログラムに関する事
コンセプト検討、演技構成、振付、伴奏曲等
- ⑤ 大会旗及び炬火リレーに関する事
※②～⑤の詳細については、R7年度以降に各部会を設置し検討予定

(2) 会議開催頻度

年1～2回程度（開催年に近づくと複数回開催）

3 委員任期

委嘱の日から目的が達成され解散することとなる日まで

（異動等により継続が困難な場合は、後任の方に引き継ぎ願います。）

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 式典業務スケジュール

年度	開催	開催手続	全体	式典業務			
				式典運営	式典音楽	式典演技	
2024 (R6)	6年前	佐賀	中央 競技団体 正規視察	専門委員会設置 専門委員会 委員長・委員選定 第1回専門委員会 (式典基本方針)	先催県の事例研究		
			式典基本方針				
2025 (R7)	5年前	滋賀	開催申請 内定	各部会 部会長・委員選定 第2回専門委員会 (式典基本構想・ 部会要綱承認)	先催県の事例研究		
			式典基本構想	開・閉会式等 基本的な考え方検討	式典音楽 基本的な考え方検討	式典演技 基本的な考え方検討	
2026 (R8)	4年前	青森	専門委員会・ 各部会	式典運営部会(仮) 各競技会表彰式 基本方針検討 炬火イベント 基本方針検討	式典音楽部会(仮) 式典音楽隊 編成基準検討	式典演技部会(仮) 活用素材 演技展開の検討	
			式典基本計画				
2027 (R9)	3年前	宮崎	会場地 総合視察 (文科省・ JSP0) 開催・会期 決定	専門委員会・ 各部会	炬火用具デザイン 募集・選定 (炬火台・炬火トーチ)	場面ごとの使用曲検討 音楽隊編成検討	式典演技のコンセプト 演技上の留意点検討
			式典実施計画				
2028 (R10)	2年前	長野	専門委員会・ 各部会	役員・選手団 入退場計画検討 OP・EP 構成検討 OP・EP 出演者の選定方針検討 OP・EP 出演団体の募集・選定	作・編曲者の検討 楽譜の作成 演奏団体の選定 練習計画の策定 試奏会	出演団体の人数や 規模の検討 演奏伴奏曲の検討 演技振付・演技台本 の検討	
			式典実施要項				
2029 (R11)	1年前	群馬	国スポ リハーサル大会	専門委員会・ 各部会	炬火用具作成 式典アナウンサー フィールド司会者 プラカード等検討 炬火走者決定	練習会 使用曲録音会	演技出演団体選定 練習計画策定 用具・服飾等の 検討・製作 練習会
			式典実施要項				
2030 (R12)	開催年	島根	全スポ リハーサル大会	式典本部設置	研修会・練習会 (式典アナウンサー等) 炬火イベント	練習会	練習会
			式典総合練習会 (国スポ本大会 1か月前) 総合リハーサル (国スポ・全スポ 各1週間前)				



※先催県の事例に基づき作成した内容であり、今後変更となる場合があります。
 ※OP：オープニングプログラム/EP：エンディングプログラム

国スポ・全スポの式典の概要について

1. 式典の構成

開催基準要項等に「式典」として規定されている次の内容をいう

- 国スポ式典
 - ・総合開会式・総合閉会式（式典・集団演技など）
 - ・各競技会表彰式（各競技会場地における表彰式）
 - ・大会旗・炬火リレー（採火・集火・点火などの炬火イベント）
- 全スポ式典
 - ・開会式・閉会式（式典・歓迎演技など）

2. 総合開・閉会式と開・閉会式の概要

○総合開会式・総合閉会式（国スポ）

- ・総合開会式は地方行幸啓の一つで、総合閉会式にも皇族のご臨席がある
- ・国スポの会期の初日・最終日に実施
- ・選手団・大会役員・観客等が参加（開：1.5万人程度、閉：7千人程度）

- ①オープニング（お出迎え・県の魅力発信・雰囲気盛り上げる）
 - ・伝統芸能等を取り入れた県民パフォーマンスや国スポの紹介
- ②式典（開催基準要項第20項に定められたもの）
 - ・60分以内で実施。できるだけ簡素なものとする。
 - ・必ず行う項目が定められている（開会宣言、炬火点火、選手宣誓など）
 - ・上記項目に加え役員・選手団の入場行進等が行われる
 - ※集団演技を実施可能（近年では式典内に盛り込む県が増えている）
- ③エンディング（競技会へ向けた盛り上げ・締めくくり）
 - ・開：競技会へ向けて、盛り上げるパフォーマンス
 - ・閉：全スポへ向けて盛り上げると共に、後催県へつなげるパフォーマンス

○開会式・閉会式（全スポ）

- ・開・閉会式とも、皇族のご臨席がある
- ・全スポの開催日初日・最終日に実施
- ・選手団・大会役員・観客等が参加（1万人程度）

- ①オープニング（お出迎え・雰囲気盛り上げる）
 - ・伝統芸能等を取り入れた県民パフォーマンスや国スポの紹介
- ②式典（「できるだけ簡素なものとする」と定められているのみ）
 - ・総合開・閉会式を簡易化した式が行われる
- ③エンディング（競技会へ向けた盛り上げ・締めくくり）
 - ・開：競技会へ向けて、盛り上げるパフォーマンス
 - ・閉：全競技を締めくくり、後催県へつなげるパフォーマンス

3. 各競技会の表彰式【開催基準要項細則第8項】

- ・各競技会終了後に各競技の成績表彰を行うもの
- ・県が基準となる項目を策定し、各競技会を開催する市町村が実施する
- ・できるだけ簡素に実施する

4. 炬火イベント【開催基準要項第22項】

○国スポ

- ・炬火（きょか）は、オリンピックの聖火に当たるもので、大会期間中、選手を見守るシンボルとなる火である
- ・大会機運高揚や幅広い県民参加による連帯感醸造等を目的として実施される

《採火・集火について》

「リレー方式」：県主催の採火式で採火し、大会旗と炬火を県内でリレー

「集火方式」：各市町村の独自イベントで採火し、県主催の集火式で集火

「配火方式」：県主催の採火式で採火し、開会式後に市町へ配火

※以前は「リレー方式」が主流だったが、年々簡素化されつつある。

栃木県は「集火方式」、鹿児島県は「リレー方式」、佐賀県は「配火方式」

○全スポ

- ・開催基準要項に規定はない
- ・先催県では、国スポの炬火を全スポに引き継ぎ、一体的なイベントとして実施されている。

○炬火用具（炬火台・トーチ等）

- ・式典で炬火を灯す「炬火台」、炬火イベントや式典で炬火を移動する際に使用する「炬火トーチ」、炬火を一時的に保管するための「炬火受皿」
- ・地域の特色や伝統工芸などイメージして制作される。
- ・先催県では、前回大会の炬火台を再活用したり、一般公募や地域出身のデザイナー、関係団体へデザイン依頼などにより制作している

5. 参考

（資料3-1） 式典関係 諸規定

（資料3-2） 2023 かがしま国体、2024SAGA 国スポの式典の様子

(3) 審議

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 式典基本方針（案）

第84回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第29回全国障害者スポーツ大会（以下「全スポ」という。）の式典は、「国民スポーツ大会開催基準要項」、「同規則」及び「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱」並びに「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」及び「同基本構想」を踏まえ、「自分を超えろ、神話をつくれ」のスローガンのもと、「島根かみあり国スポ・全スポ」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) より多くの県民が参加し、スポーツを「する、みる、ささえる」、さらには「しる、つながる、はぐくむ」の観点から、共感し体感できる式典とする。
- (2) 悠久の歴史や豊かな自然、多彩な文化・芸術など、島根の魅力を全国に発信し、来県者をおもてなしの心で迎えるとともに、参加者の記憶に残る式典とする。
- (3) アスリートファーストの視点に立ち、簡素化や効率化を図りながらも、参加者や環境への配慮などに創意工夫を重ねた、島根らしいコンパクトな式典とする。

2 式典の構成

式典は、国スポ及び全スポ（以下「大会」という。）の開・閉会式、各競技会の表彰式（以下「表彰式」という。）、炬火イベントで構成する。

- (1) 大会の開・閉会式
国スポの総合開・閉会式は、「国民スポーツ大会開催基準要項第20項」に規定する式典、役員・選手団入退場等で構成する。全スポの開・閉会式は、国スポに準じた構成とする。
- (2) 表彰式
国スポの表彰式は、「国民スポーツ大会開催基準要項細則第9項」の規定により構成する。全スポの表彰式は、国スポに準じた構成とする。
- (3) 炬火イベント
炬火イベントは、開催に向けた機運を高める行事及び大会の開・閉会式で構成する。

3 式典の企画・運営

- (1) 大会の開・閉会式
開・閉会式は、県が企画・運営に当たる。
- (2) 表彰式
国スポの表彰式は、県が別に定める要項に基づき、会場地市町村が関係競技団体と協議の上、企画・運営に当たる。
全スポの表彰式は、県が会場地市町村及び競技運営主管団体と協議の上、企画し、会場地市町村及び競技運営主管団体が運営に当たる。
- (3) 炬火イベント
炬火イベントは、別に定める要項に基づくものとする。

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会事務局

(島根県環境生活部島根かみあり国スポ・全スポ準備室内)

〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

TEL:0852-22-6097 FAX:0852-22-6833

E-mail: kokumin-sports@pref.shimane.lg.jp